

2007年 8月16日

会社名 株式会社 大丸

コード番号 8234

 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者  
 奥田 務

 お問合せ先 グループ本社 広報・IR部  
 TEL 06-6281-9002

## 2007年7月度 大丸 連結営業報告

### 1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	7 月 度	3~7月 累計
百貨店業	3.9< 4.2>	0.3< 0.0>
除くららばーと横浜店	4.5< 4.7>	0.4< 0.7>
スーパーマーケット業	2.3< 2.0>	3.4< 3.1>
卸売業	3.7	10.4
その他事業	29.2	3.7
連結合計	1.0< 1.1>	2.0< 1.9>
除くららばーと横浜店	1.4< 1.5>	1.5< 1.4>

(注) 1. 平成19年5月度より、その他営業収入(不動産賃貸料収入)を売上高に含めている。

< >内数値は、不動産賃貸料収入を除く従来ベースでの対前年増減率。

2. 各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

### 2. 百貨店業 売上高概況

#### 1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	7 月 度		3~7月 累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	5.3< 5.7>	2.9	1.4< 1.8>	1.8
梅田店	7.7< 8.0>	4.5	1.9< 2.2>	0.2
東京店	4.7< 5.0>	12.1	0.6< 0.2>	11.3
ららばーと横浜店	- < - >	-	- < - >	-
京都店	2.2< 2.5>	2.8	0.7< 0.3>	0.3
山科店	1.4< 1.4>	-	2.2< 2.2>	-
神戸店	3.3< 3.6>	3.8	0.6< 0.9>	2.5
新長田店	6.3< 6.3>	-	1.8< 1.8>	-
須磨店	3.4< 3.4>	-	0.9< 0.9>	-
芦屋店	0.1< 0.1>	-	1.1< 1.1>	-
札幌店	1.8< 2.2>	0.5	4.8< 4.4>	3.3
直営11店舗計	3.4< 3.8>	0.2	0.9< 0.5>	2.3
除くららばーと横浜店	4.1< 4.4>	-	0.0< 0.3>	-
博多大丸	5.3< 5.3>	2.0	1.8< 1.9>	0.6
下関大丸	5.4< 5.5>	4.5	1.5< 1.6>	4.0
高知大丸	8.3< 8.3>	9.8	2.4< 2.4>	3.8
今治大丸	6.2< 6.2>	4.4	3.4< 3.4>	2.8
百貨店業合計	3.9< 4.2>	-	0.3< 0.0>	-
除くららばーと横浜店	4.5< 4.7>	-	0.4< 0.7>	-

(注) 1. 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店合計である。

2. ららばーと横浜店は平成19年3月15日にオープンした。

3. < >内数値は、不動産賃貸料収入を除く従来ベースでの対前年増減率。

#### 2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	7 月 度	3~7月 累計
紳士服・洋品	10.6	1.9
婦人服・洋品	4.4	0.8
子供服・洋品	12.7	3.8
その他の衣料品	8.7	4.2
衣料品計	6.2	0.2
身の回り品	10.4	7.2
家具	0.9	2.9
家電	27.9	15.8
その他の家庭用品	0.8	0.8
家庭用品計	2.2	1.2
生鮮	5.7	9.7
菓子	1.8	5.0
惣菜	10.4	12.7
その他食料品	8.0	1.2
食料品計	0.6	6.5
食堂・喫茶	1.2	1.0
化粧品	1.1	4.6
美術・宝飾・貴金属	2.1	0.3
その他雑貨	2.2	3.2
雑貨計	1.2	1.3
サービス	2.0	2.1
その他	98.2< 0.2>	49.9< 10.4>
合計	3.4< 3.8>	0.9< 0.5>

(注) 2007年3月から「ティファニー」の売上を「身の回り品」から「婦人服・洋品」に移動。

### 3. 概況

#### 1) 百貨店業

- ・7月の百貨店業の売上高は、前年に比べ土曜日が1日減であったほか、夏のクリアランスセールスタートが前月に前倒し(6/30開始)となった影響により、衣料品が苦戦したものの、絵画や時計などに動きが見られたほか、お中元ギフトを除く食料品が比較的堅調に推移したこともあり、不動産賃貸料収入を除いた直営店は対前年3.8%減、百貨店事業全体では同4.2%減となった。(不動産賃貸料収入を除いた6~7月累計では直営店1.0%増、全体では0.4%増)
- ・婦人・紳士衣料品や身の回り品は、クリアランスセールの立上り日が6/30に前倒しとなった影響が大きく苦戦したが、6~7月累計では婦人服特選や洋品、また身の回り品のアクセサリやハンドバッグ、婦人くつなどが好調に推移している。食料品は、お中元ギフトは苦戦したものの、「大丸ららぽーと横浜店」による嵩上げとともに、和洋菓子や生鮮三品、惣菜などが伸ばした。雑貨は、化粧品が堅調のほか、絵画や時計にも動きがあった。
- ・博多大丸、下関大丸は、直営店と同様に土曜日1日減やクリアランスセールの6月前倒し開催のほか、中旬の台風の影響も加わり苦戦した。

#### 2) その他

- ・スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、3月にオープンした3店「三田伊皿子店」「東池袋店」「芝浦アイランド店」による嵩上げ効果により、不動産賃貸料収入を除いた全店合計は対前年2.0%増となった。  
地区別では、関東地区が上記3店の出店効果もあり対前年3.4%増(既存店同2.4%減)、関西地区は同0.3%の微減であった。
- ・卸売業の大丸興業の売上高は、電子部品が大幅増で牽引した。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343